

小学校統合プラン説明会会議録

と き 平成23年7月26日午後7時30分～午後9時

ところ 浦安地区公民館

出席者 地区民男性14人、女性7人 計21名

石前委員長・高塚委員・進委員・前畑委員・永田教育長・生田課長・藤村課長
浅田補佐・谷本補佐・高力係長・谷岡

開会 生田課長

あいさつ 石前委員長

統合プラン説明 永田教育長

資料により説明させていただき、皆様とともにこの問題を考えていきたいと思う。

別紙資料により説明。

財政推計について生田課長説明

質問・意見交換

○ 統合プランにあるように、将来的にいずれは中学校区で統合と謳っているが、それはいつ頃か予測はしているか。答申の32年度統合は白紙という説明であったが。

● 中学校校区1校ずつというのは平成32年度ではかなり大きな学校規模の児童数である。今ある学校では収容しきれないので、新しく学校を建てなければならない。規模がどんどん小さくなることもいけないが、大きな規模も今すぐつくることもいけない。何年先かと聞かれても言い切れないが、今度統合を考える時は、小学校の問題だけではなく、中学校の問題も考えていく必要があると思っている。

○ 先ほど財政面の説明があったときに8校を5校にするシミュレーションがでていたが、中学校区を1校にした場合もシミュレーションしたか。

● 学校統合することによって若干少なくなったりあるいは支出が増えたりということを示したわけで、たとえば1校ずつに学校統合をして、本当に新しい学校を建てるとして何億要るのかということも小学校適正規模配置の審議会では討議してもらった。今学校をすぐに建てるということは考えないということできている。

○ 中学校区1校にした場合、1校に収容しきれないということであるが、どこか1校を増築した場合や新たに建てた場合のシミュレーションはしたか。

● 例えば東伯中学校区で1校、赤碕中学校区で1校ということについて、まず今ある学校は新しくまだまだ使えるということが1点、2点目は一気に統合すればいいという考え方もある。東伯中学校区で今年度児童数が608名いる。あまり大きすぎるのも、小さすぎるのもどうかということで、今ある校舎を使ってある程度できるわけである。一気に1校にして、新しい校舎を整備することは、財政的にも住民の納得が難しいのではないかと

いうことで1校にするという具体的なシミュレーションはしていない。

○ 小学校の統合プランに納得したが、目標年度を教えてください。

● 26年度を目指している。その間はクリアしなければならないいろいろな課題がある。まず地域の方や保護者の皆さんの理解を得なければいけない。その後、準備委員会を立ち上げ、その中で課題を考えて26年度には新しいスタートをきりたいというのが教育委員会の思いである。

○ PTAでアンケートをとったところ、いろんな意見があって賛否両論だった。ひとつ感じたのは、周知が十分にできていない、「町報ことうらを見ましたか」の設問にも「見ていない」が半数以上だった。町報やアンケートで初めて知ったとか、こんなこといつ決まったのかとか書いている人がたくさんあった。そんな状況で物事がどんどん進んでいくことに不安がある。それから説明のあった通学補助費の距離数の区切りはどれくらいか。

● 遠距離の通学の距離は、概ね3キロを基本としている。

周知の問題は非常に難しい。たとえば今日の説明会についても、町報・児童の家庭配布・区長に部落放送の依頼・町一斉放送もした。次の説明会は、9月下旬から小、幼・保育園保護者の皆さんに小学校単位で説明会を開いて話し合いをしていきたい。

○ 「統合のことをどう考えていますか」という設問では、保護者のなかにも温度差があって、皆が皆、賛成、反対しているわけでもない。私ももちろん反対というわけではないが、ただ手放しでは賛成できない不安がまだある。26年度があまりにも近いような気がして、いろんな不安がアンケートの結果にたくさん書いてあった。そういうことに対してどのような形で応えていかれるのか、そういう場を設定してくれるのか。

● 統合により環境が変わることについて保護者・子どもの不安がある。同じやるだったら不安のない統合プランの推進をしてくださいよという意見があった。不安についても行政で除ける部分と、保護者の皆さんも努力していかなければならない部分もある。そのことは9月以降の学校ごとの説明会、準備委員会等で保護者の皆さんと具体的に話合っていたらと思う。

○ 話し合った結果として、保護者の要望をたくさん聞いてほしいと思う。たとえば通学についてスクールバスを希望する保護者がたくさんいる。なぜスクールバスかというよりは安全ということを考えてのことである。たとえば準備委員会が出た色々な条件等が折り合わない場合、そのときは統合がなかったことになるのか、いつの段階で統合が決まるのか、やはり最終的には議会等になるのか。

● 統廃合等を考えるのは教育委員会の権限である。予算、設置条例等は町長提案、議会議決が必要である。

○ 準備委員会が出た意見が議会で却下されるということもありえるのか。

● 住民や保護者の理解が必要である。きちっと説明責任が果たせるように、「そうだよな」という納得がいくような状況にもっていかないといけない。

路線バスの問題でも、安全・安心についてどこに線引きするということであるが、現在、

路線バスを利用している学校が町内3校ある。路線バスのいいところは、町民の皆さんとふれあいが持てていることである。ほんとにスクールバスだけでやるのがいいのか、いろんな意味で考えていく必要がある。路線バスを使うとなれば増便の問題やバス停の問題もでてくる。そういうことはこれから詰めていかなければならない。

○ この適正規模審議会が平成20年3月に始まって、26年度の統合を目指してということで、この時点で6年間の時間がかかる。将来的に子どもが少なくなって、小学校・中学校の統合も考えていくと10年後ではないとしても、時間がかかるものだからまえもって、いろいろな方法で情報を出してもらいたい。

学校説明会のことですが、2回目・3回目ということもあるか。

● 説明会はやっていかないといけない。やはり納得していただきたいので、必要があれば声をかけてほしい。

○ 子どもたちがひとつの校舎におさまる人数になるのを待つより、琴浦町の少子化対策を考えてほしいと言う意見もたくさんあった。

● ただ、少子化の問題・定住の問題というのは長年にわたってのどの行政でも大きな課題として取り組んできた内容であると思う。現実問題としてはその成果がなかなかあがってこない、たしかにそのことは考えていかなければならないと思う。

今の状況を「鳥取県市町の小、中学校統合の状況」の説明。

○ 保護者のみなさんは小規模教育または大規模教育を望んでいるのか。その辺はアンケートの結果として出ているか。

○ やむをえない・しょうがないが多かった。

○ 啓発という部分をもっとしてもらいたいとあったと思うが、統合にあたっては啓発啓蒙をやっていくのは当然だと思うので、学校・保護者・PTAに十分説明をほしい。

○ 小学校ごとにかなり温度差があると思う。よく聞くのが、教育委員会が決めたから、議会・町が決めたから統合は決まっているという声である。親の意見として保護者も勉強して教育委員会の人と話をしていないといけない。

人数が多くなると子供に目が行き届かなくなるという心配がある。統合になれば先生の人数も減ってしまうのか。一人の先生が40人の子どもを見るのはすごく大変だと思うので、40人のクラスに、もう一人補助的な先生がつける対策はとれないか。

● 教育委員会が言っているのは、本当に子どもが少なくなっている現実があるのに、いま黙っていてもいいのか。事を起すとなれば相当日数がかかる。ならば今、私たちは5年後10年後を見据えて、今回提案させてもらった。子供たちにとって望ましい環境をつくる。そのためには、皆さんの意見をしっかり聞いて、皆さんに納得していただくのが理想的と思う。先生の問題は統合問題とは関係ない。さっきは小規模校の配置の問題を言いました。大規模校ではたとえば小学校1年2年生について、鳥取県は協力金により30人学級をしている。たとえば、浦安小学校では学級の数は30人・35人だけでも、教科によっては2クラス・3クラスにしたりする教科もある。学級というのは生活集団と学習集

団があるので、生活集団はある程度の人数あってもいいのではないかと、ただ学習集団は場合によっては、一人一人行き届いたある程度の少人数の中で指導していく、それを行うための教員の配置もしているところである。

○ 保育園の統廃合の問題にも参加させてもらっている。今日の感想であるが、教育委員会と町民生活課の統廃合についての捉えかたが違うかどうか分からないが、ちょっと温度差があると思った。背景についても今日の話は少子化問題がメインである。保育園については財政的部分がとても大きい。今後、保育園・幼稚園も含めて未来の保護者にも説明ということになれば教育委員会・町全体の足並みを揃えるような方向性で行ってほしい。

どうしても以前は多い人数だったので、少子化というのがマイナスイメージと捉えがちだが、小規模の良さもあると思うので、それを再認識するとともに、5・10年後価値観・教育観の変化にも対応して早急に結論出すことはせずに地域のこともいっしょに考えて話を進めてほしい。

○ 大規模になれば目が行き届かないと話が出ていた。私が勤めていた米子市では、40人はあたり前、40人のクラスが3、4クラスある状況だった。そういうクラスは程度が悪いのか、そんなことはない皆立派に成長している。その辺をしっかりと保護者に徹底されれば、そういう不安はなくなると思う。

それと、周知徹底はしっかりやらないといけない。さきほどアンケートの話があったが、保護者が統合についてよく理解していない状況で、アンケートをしても参考にならない結果になってしまう。企業人から見ると、町報にだした、放送したというのは周知徹底と言わない。もっと創意工夫して周知徹底していかないといけない。

司会 他にご意見はありますか。ほんとうに今日は有難うございました。以上を持ちまして小学校統合プランの説明を終らせていただきます。

午後9時閉会